

- 肌のつやがない・活気がない：低栄養・飢餓状態。

【支援が必要な乳児・幼児】

- どんな支援が必要か聞く。
- 着替え・タオル・飲み物・食べ物の確保。
- 可能なら、乳幼児用の食器や食物を手に入れるように依頼する。
- それらのものが手に入らないときには、大人がそばにいて介抱してもらえるようにする。



POINT 母乳をあげているお母さんはショックで母乳の出が悪くなることもありますが、母乳は清潔で栄養価が高く、赤ちゃんも安心するので、ぜひ継続してもらおう。飲ませ続ければ、かならず母乳の量は戻る。

MEMO 乳幼児に起きる病態

発熱／脱水／不安／打撲・外傷／孤立・孤児／低体温／飢餓

5 肉親と離れ離れになっている小児や学童・学生

- 頼るべき肉親がない子どもは、非常に不安定な状態にある。
- 災害に遭遇時に、非常に大きな精神的な衝撃を受け、負担がかかっている状態。
- 近くにいる大人に手を握ってもらったり、肩を寄せ合うなどしてもらい、きとお母さんに会えるからね、

- などと声を掛け続ける。
- 濡れていれば着替えの確保，寒ければ保温具の確保，食事・食糧などの支援が来た場合には，優先して子どもたちに回るように避難所の運営者や周囲の大人にも声を掛ける。
 - 親とはぐれている子どもの数や状況などを，避難所の責任者に報告する。
 - 外部と連絡が可能になり，交通の安全が確保された場合に肉親や保護者と会えるように手配する（逆に，心配だから，心細いからという理由で，安全が確認できていない自宅方面などにむやみに行かせない）。
 - 可能なら，はぐれている子どもの名前や状況を避難所の入り口などに掲示する。
 - 肉親や保護者に引き渡すときには，誰にいつ引き渡したか，記録する（両親や親族などがそれぞれ迎えにくる可能性がある。誰が引き取ったかわからないと，新たな混乱が発生することになる）。
 - 日時が経過しても，迎えにくる親族がいない場合には，行政などに積極的に働きかけ，両親や親族の消息を尋ねる，引き取れる親族を探すなどの手配が必要。

6 排泄困難者

1. 定期導尿している排尿困難者への対応

カテーテルの予備がない場合には，水分摂取を減らすな